

2021 年 KYC ポイントレース 帆走指示書

- 1. 適用規則** 国際セーリング競技規則(RRS)
IRC は最新の JSAF-OSR 付則 B インシヨアレース用特別規定および OSR 国内規定を満たしていること。
- 2. 参加資格** 自艇及び関係する第三者間の事故の責任を負えること。
乗員は各クラス 2 名以上乗艇すること。(レースごとに定める場合は別)
関西ヨットクラブ安全基準を満たしていること。
IRC は証書記載のクルー人数 × 85kg の合計体重以内とする。
参加申込書の乗員氏名欄に体重を申告すること。
- 3. スケジュール** **IRC クラス、WHITESAIL クラス(通常期間)**
09:00-09:20 出艇申告 09:20-艇長会議 (KYC2 階)
10:55 WHITESAIL クラス予告信号 11:00 IRC クラス予告信号
※各クラス合同開催日は艇長会議にて各クラス予告信号時間を決定する。
※7 月、8 月の夏季期間は全ての時間を 1 時間繰り下げる。
※大阪湾レースは別途定める。
DRAGON クラス
10:55 予告信号
※全クラス合同開催日は艇長会議にて各クラス予告信号時間を決定する。
- 4. レースコース** **IRC クラス、WHITESAIL クラス**
Windward-Leeward 4Leg、Short Distance
※各日採用コースはレーススケジュールに定める。
※レースごとの採用コースは艇長会議にて決定する。
※大阪湾レースは別途定める。
DRAGON クラス
Windward-Leeward 4Leg
マーク変更に伴う信号は無い。マークを変更した場合は運営艇に黄色の回転灯を点灯する。
※全クラス合同開催日のコースは艇長会議にて決定する。
- 5. スタート** レースは RRS26 に従いスタートする。
クラス別スタートを採用する場合、そのスタート順は艇長会議にて決定する。
クラス旗は下記とする。
IRC クラス:グリーン旗
WHITE SAIL クラス:KYC クラブ旗
DRAGON クラス:D 旗
スタート信号後 5 分以内にスタートしない艇は「DNS」と記録される。
※Short Distance、大阪湾一周レースは別途定める。
- 6. タイムリミット** スタート信号後 120 分とする。タイムリミット内にフィニッシュできなかった艇は DNF として記録される。
※Short Distance、大阪湾一周レースは別途定める。
- 7. 安全規定** リタイアした艇は速やかに運営艇またはレース本部(KYC 事務局 0798-26-0691)へ連絡すること。
- 8. 失格に替わる罰則** RRS44.2 の 720 度の回転を適用する。
DRAGON クラスは DRAGON クラス同士の場合のみ 360 度の回転を適用する。
これら以外を適用する場合は別途定める。

9. 抗議

レースコミッティーの指名するプロテスト委員会が裁定する。抗議締切時間は当日の最終レース終了後又は中止の決定後 90 分とする。再審の請求は判決翌日 (KYC 休日の場合は翌営業日) の 17 時までとする。

10. レーティング

IRC 総合クラス:IRC レーティング (ENDORSED) を採用する。

IRC ミドルボートクラス:IRC レーティング (NORMAL 以上) を採用する。

※IRC 総合クラスには IRC レーティング NORMAL 証書の保有艇もレースに参加できるが、年間ポイントへの算入は ENDORSED 証書の保有艇に限る。

WHITE SAIL クラス:レース委員会が決定したレーティングを採用する。

ボーナス & ペナルティー (すべてレーティングに乗じる)

ダクロンメイン:1% メインファーラー:5% ブームファーラー:2%

ダクロンジブ:1% ジブファーラー:4% ノンスピン:5% ノンポール (ガンポールはポールと見なす。):1% ソリッドペラ:10% ダブルハンド:3% 水上係留艇:3%

電動ウインチを使用する場合:-2% 船齢:1年につき0.2%(最大6%(30年))

1 レース終了毎に 1 位艇からマイナスハンディとして 1 位:3%、2 位:2%、3 位:1%を、最下位艇からボーナスとして最下位:6%、最下位から 2 番目:4%、最下位から 3 番目:2%を付ける。

DRAGON クラス:スクラッチ

11. 得点方法

RRS 付則 A4 の得点方式を採用する。

IRC クラス:大阪湾レースのポイント計算は通常得点で 2 レース扱いとする

WHITE SAIL クラス:大阪湾レースのポイント計算は 1/2 とする。

第 1R:西宮→洲本、第 2R:西宮→洲本→西宮

12. 年間ポイント

IRC クラス:成立したレースの 80% (小数点以下四捨五入) を得点とする。

WHITE SAIL クラス:成立したレースの 80% (小数点以下四捨五入) を得点とする。レースが成立しなかった場合、エントリーした艇に 1 日につき ENT (エントリー数 + 1 のポイント) が与えられる。

DRAGON クラス:成立したレースの 80% (小数点以下四捨五入) を得点とする。

全クラスとも年間 4 レース以下の実施の場合、全てのレースを得点とする。

全クラスとも合計得点が高点の場合は、より上位の得点の多い方の艇を上位とする。

全クラスともシーズン中に艇の入れ替えがあった場合でも、同一クラスであれば得点を継続出来る。

全クラスとも各レース日、各クラス毎に 3 艇以上の参加で成立とする。

チャーター艇でのエントリーの場合、年間ポイントには参入されない。長期に渡りチャーターする場合は、他の参加艇の了解のもとに算入する。

13. 無線の使用

レース委員会は VHF72 チャンネルによりレース艇にリコール等のアナウンスを行うことがある。放送や放送時間の的確性に関する落ち度は、救済要求の根拠にはならない。これは RRS 規則 62.1(a) を変更している。

緊急の場合を除き、艇はレース中無線送受信を行ってはならない (ただし、上記リコール等のアナウンスを除く)。またこの制限は、携帯電話にも適用する。

14. 賞

各クラス共、年間第 1 位～第 3 位 (参加艇数による。)

※年間 3 レース以上実施されない場合、年間表彰は行わない。

レースの種類により各日で表彰を行う事がある。

15. リスク・ステートメント RRS 3には『レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任はその艇にのみある。』とある。大会に参加することによって、それぞれの競技者は、セーリングには内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることになる。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労による傷害のリスクの増大などがある。セーリング・スポーツに固有なのは、溺死、心的外傷、低体温症その他の原因による一生消えない重篤な傷害、死亡のリスクである。
新型コロナウイルス感染症の感染、感染拡大には十分留意すること。

16.係留

上下架は新西宮ヨットハーバー(0798-33-7707)に予約して下さい。係留場所もその時に確認して下さい。隣に契約艇がある場合、もやいロープを元の通りに戻しておいて下さい。

出艇料

IRC クラス	10,000 円
WHITESAIL クラス	8,000 円(KYC メンバー艇) 10,000 円(KYC メンバー艇以外)
DRAGON クラス	年間エントリー 42,000 円(KYC メンバー艇) 56,000 円(KYC メンバー艇以外) 1日エントリー8,000 円(KYC メンバー艇) 10,000 円(KYC メンバー艇以外) レートエントリーは上記プラス 3,000 円 申込締め切り後のキャンセルは乗員登録料をお支払いいただきます。

乗員登録料(IRC、WHITESAIL、DRAGON クラス)

パーティーのある日	1,500 円/1 名
ウェットバーパーティー	1,000 円/1 名
パーティーのない日	500 円/1 名(DRAGON はなし)
スーパージョイント	未定

(社)関西ヨットクラブ レース日の海上での安全基準と危機管理 (レース参加艇の乗員全員は以下の全項目を遵守すること)

- ①海上衝突予防法、海上交通安全法、港則法など関連法規を遵守すること。
- ②法令に関わり無く航行中は他の船舶との衝突予防に努めること。
- ③有効なヨット保険等、損害賠償保険に加入していること。
- ④有効な小型船舶検査証を有し、法定備品を搭載していること(DRAGON を除く)。
- ⑤JSAF 及び所属する各クラス協会の定める事項を遵守すること。
 - ・安全備品等、必要な備品を搭載していること。
 - ・セールに番号を付けること。メインセールとヘッドセールの番号が異なる、又は番号を持たない艇は事前に申し出ること。
- ⑥ボートを安全な状態に保っていること
 - ・アンカーとアンカーラインが常時、使用可能な状態であること。
 - ・レース海面のどこからでも帰港可能な量以上の燃料を搭載していること。(DRAGON を除く)
 - ・安全備品等は常に使用可能な状態にしておき、使い方も把握しておくこと。
 - ・日頃からボート整備に努め、安全な航行が可能な状態にしておくこと。
- ⑦海上では常時、緊急通信手段が通信可能な状態にしておくこと。
 - * 艇長の携帯電話
 - * VHF 72ch

- ⑧艇長が危険と判断した場合速やかにレースをリタイアしレース本部に連絡すること。リタイア後は速やかに帰港すること。
- ・風、波等の状況が悪くなりレース続行が危険だと判断した時。
 - ・ボートや艀装品等に不具合が生じレース続行が不可能と判断した時。
 - ・乗員が危険な状態に陥った時(怪我、病気、乗員の落水等状況により)
- ⑨海上で危険な状態に陥った時は速やかに対処し、レース本部と各方面(必要な場合)に連絡すること。
- ・怪我や病気の対処(止血、心肺蘇生等)と救助要請。
 - ・乗員の落水時の対処(救出)と救助要請。
 - ・ボートが航行不能な状態になった時の対処と救助要請。
 - * レース本部船:VHF72ch もしくは 090-3052-7854(横山)
 - * レース陸上本部:0798-26-0691(KYC 事務局)
 - * 参加各艇:VHF72ch
 - * 海上保安庁:118 番
- ⑩乗員落水時、病人や怪我人が出た時、艇にダメージがあった時等の対処方法を把握しておくこと。
- ・落水者救出方法。
 - ・止血や心肺蘇生法等。
 - ・応急ティラーやラダーの取り付け方法等。
 - * チーム内で話し合い、講習会の受講や練習を行っておくことを推奨する。
- ⑪全乗員の緊急連絡先を把握していること。
- ・乗員の緊急時の連絡先(家族など)を日頃からチーム内でまとめておくこと。
- ⑫レース期間中いつでも主催者による安全立ち入り検査に異議の無いこと。
- ⑬ドローンでレースを撮影する場合は、事前にレース委員会に申告し、許可を得ること。
- ⑭当ヨットクラブが開催するヨットレース等の映像の管理権は当ヨットクラブの管理下にあるので、商業利用の場合は当ヨットクラブの了解を得ること。
- ※各事項のルール、方法の詳細は専門書、専門マニュアルを参照して下さい。

(社)関西ヨットクラブ レース運営基準 (レース運営には以下の基準を用いる)

- ①海上では常にライフジャケットを着用すること。(規則により変更されたものを除く。)
- ②スタート前風速 15m/s以上、又は強風波浪警報、津波注意報が発表された場合はレースを中止する。

(社)関西ヨットクラブ クラブハウス利用規定

KYC のトイレ、シャワー、1 階ウェットバーは KYC メンバー専用です。クルーの方は新西宮ヨットハーバーのトイレ、シャワーを使用して下さい。(全乗員に周知徹底すること。)